

ガバナーメッセージ

「Service above self —101」の年を終えるにあたって

国際ロータリー第2660地区

ガバナー **神崎 茂**

2005年～2006年度 RI会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏の掲げるテーマ「Service above self」のもと、ロータリー創立101年目の年を終わろうとしていますが「識字率向上と教育」「水保全」「継続性」「他団体との協力」「公共イメージの向上」等を強調されました。

上記RI会長の方針を受けて当地区では「Service above self —101」をテーマとして「RI会長賞」を積極的に推進することと「クラブの充実」「職業奉仕」に重点をおいて活動するよう当地区86クラブの皆様にご要請致しました。

地区大会等恒例の地区行事と共に幾つかの特別な活動も実行することが出来ました。

第3ゾーン「水問題セミナー」を当地区が主催し、第3ゾーンに属する7地区のロータリアンが水問題について学習する機会を提供しました。

又、長年に亘って当地区が継続的に活動を続けてきた「麻薬撲滅 一ダメ。ゼッタイ。」普及運動に対して厚生労働大臣感謝状の授与があり「民間国連ヤング大使」としてインターアクトクラブ 鈴江祐希さんのウィーン派遣がありました。

八つのIM単位のインターシティーミーティングも夫々に工夫と努力が加えられ大きな成果を上げることが出来ました。

一年間の任期中だけでもいくつかの自然災害がありました。アメリカ ニューオリンズのハリケーン、スマトラ沖の津波、北部パキスタンの地震、最近ではインドネシア ジャワ島の地震が大災害をもたらし、その度にロータリアンの皆さんに特別寄附をお願いし、



又ポールP.ハリスゆかりの家カムリー・バンクの買収についてもご協力頂きました。これらのお願いに対して快く予想以上の多額の金額を頂くことが出来ました。

IM幹事会もグループ内での情報交換に貢献し、互いの親睦を促進することが出来ました。

「RI会長賞」は当地区86クラブ中46クラブ（大阪ローターアクトクラブを含む）が受賞致しましたが、これについてはG補佐の皆様が特別の努力を拂って頂いた結果であり、地区全体の会員数4,221名、純増74名（4月末現在）につながっています。

上記の他、数多くの各クラブによる様々な奉仕活動に対して心から敬意を表するとともに感謝申し上げます。

先輩パスト・ガバナーを始め、G補佐、地区幹事、地区委員長、地区委員、各クラブの会長、幹事、その他地区内86クラブの全てのロータリアンに参加、御協力頂いたことによって予想以上の成果を得ることが出来ました。

又、ホストクラブの大阪西RC及びコ・ホストクラブの大阪リバーサイドRCの皆様には格別な御協力と御努力を頂きました。

地区ガバナーの任期を終えるに当って感謝を申し上げ、これからは一ロータリアンとし御世話になった皆様に又どこかでお逢い出来ることを楽しみに過ごしてゆきたいと思っております。ありがとうございました。